

あとがき

本書は、日本建築学会 環境技術と建築・街並み・地域のあり方特別調査委員会の小委員会「わが国の伝統的住環境技術と文化の形成」における活動の成果をまとめた報告書(2010年3月出版)の内容をもとに、加筆・修正を加えたものである。

日本建築学会 環境技術と建築・街並み・地域のあり方特別調査委員会は、委員長を藤森 紀明(NPO 歴史建築保存再生研究所)、幹事を羽根 義(清水建設(株)技術研究所)とする親委員会と以下の4つの小委員会により構成された。岡 建雄(宇都宮大学)を主査とする「都市環境・エネルギー利用調査小委員会」、浅見 泰司(東京大学)を主査とする「都市・地域環境評価小委員会」、西村 幸夫(東京大学)を主査とする「都市・地域マネジメント小委員会」、そして岡崎が主査となった「わが国の伝統的住環境技術と文化の形成小委員会」の4つである。各小委員会での成果は親委員会でもまとめられ、2010年3月には「環境技術と建築・街並み・地域のあり方についての提言」を社会に対して発表した。我々の小委員会からは、伝統的住環境技術とそれを産出した生活態度と両者が形成した文化から学ぶべき事として、①伝統的住環境技術から省エネ技術を学ぶべき、②日本人が忘れてしまった生活態度「勿体無い・しのぐ・共存の精神」を学ぶべき、③CO₂削減によってどのような文化を形成しようとしているのか明らかにすべき、の三つを提言とした。

本書の構成は、この三つをもとに再構成している。

我々の小委員会の活動は2007年12月から2010年3月の期間で行った。本書は本小委員会メンバー、および小委員会に招いた研究者、専門家などによる、10回からなる小委員会主催の委員会の討論の記録と、多数の文献資料をまとめた報告書の内容に加筆・修正したものである。小委員会のメンバーおよび活動履歴は下記の通りである。

日本建築学会 環境技術と建築・街並み・地域のあり方特別調査委員会 小委員会「わが国の伝統的住環境技術と文化の形成」委員

岡崎 甚幸(京都大学名誉教授、武庫川女子大学建築学科教授、小委員会委員長)、大谷 孝彦(同 教授、NPO 法人京町家再生研究会理事長、幹事)、天島 秀秋(同 講師)、鈴木 利友(同 講師、平野 麻衣子(同 助手)、松原 斎樹(京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授(環境)、幹事)、吉田 博宣(京都大学名誉教授(造園))、岩前 篤(近畿大学建築学部建築学科教授)、荒木 正宣(株式会社アラキ工務店会長、京町家作事組副理事長(大工))、佐藤 嘉一郎(佐藤左官工業所、京都林泉協会元会長)、小島 富佐江(NPO 法人京町家再生研究会理事・事務局長(住まい手))、里見 晋(京都市都市計画局 都市計画局長)、寺田 敏紀(同 景観創生監)、奥谷 三穂(文化政策学博士(京都府地球温暖化対策課勤務)) ※所属の一部は当時のもの

小委員会に招いた研究者、専門家

高橋 康夫(京都大学名誉教授)、丸山 俊明(住環境文化研究所 代表)

小委員会活動履歴

- ・第1回小委員会 2007/12/7(金) 環境技術と文化について(荒木・佐藤・松原)
- ・第2回小委員会 2008/2/16(土) 環境技術チェックリスト(岡崎)
- ・第3回小委員会 2008/3/15(土) 伝統的住環境における環境問題の指標と体系化(大谷)、大工工事・左官工事からみた京町家の環境技術(荒木・佐藤)、京都の庭園や自然と環境技術(吉田)、町家型現代都市住居の事例(天島)
- ・第4回小委員会 2008/4/5(土) 京町家の現代的意味と都市環境行政(里見)
- ・第5回小委員会 2008/4/23(水) 生活態度(習慣)の視点から見た京町家(小島)
- ・第6回小委員会 2008/5/21(水) 日本人の生活態度における「勿体無い」と「自然観」について(岡崎)、四季彩都市京都(寺田)
- ・第7回小委員会 2008/6/11(水) 京町家の中庭・坪庭の源流とその展開(吉田)
- ・第8回小委員会 2008/7/9(水) 環境技術「住まいの健康負荷・環境負荷」(岩前)、町家の温熱環境について(松原)、町家の環境工学的調査計画案(松原・岩前)
- ・第9回小委員会 2008/8/4(月) 近世京都の町家と町並み(丸山)
- ・第10回小委員会 2008/10/8(水) 京町家について(高橋)
- ・京町家の住まい手ヒアリング 夏期：2008/10
冬期：2009/2/25, 26, 28
- ・木下棟梁ヒアリング 2009/2/5
- ・小島邸ヒアリング 2009/6/4
- ・2009年度日本建築学会大会(東北) 環境技術と建築・街並み・地域のあり方研究懇談会 2009/8/28
- ・環境技術と建築・街並み・地域のあり方に関するシンポジウム 低炭素社会のまちづくり-実践と普及に向けて- 2010/3/8(図1)
- ・京町家の住まい手への報告会 2011/4/27



図1 環境技術と建築・街並み・地域のあり方に関するシンポジウム 齊藤鉄夫(元環境大臣)も参加

討論に参加した本小委員会メンバーは、分担執筆者のほか、荒木 正亘(大工)、佐藤 嘉一郎(左官職人)、小島 富佐江(町家の住まい手)、里見 晋(元京都市都市計画局長)、寺田敏紀(現都市計画局長)、奥谷 三穂(元京都府地球温暖化対策課、現京都府立大学教授)などである。また専門家として高橋 康夫(京都大学名誉教授)、丸山 俊明(住環境文化研究所代表)には委員会において講演をしていただいた。京町家の温度測定やヒアリングでは、多数の住まい手や職人の方々にもご協力いただいた。ここに付記して感謝申し上げたい。

本書を出版するにあたり財団法人住宅総合研究財団からの助成(出版助成番号1052)を受けた。審査委員の先生方に心よりお礼を申し上げる。

最後に、武庫川女子大学出版部から本書を出版する機会を与えていただいた武庫川学院 大河原 量 理事長、武庫川女子大学 糸魚川 直祐 学長、公江 茂 事業部長に深謝申し上げます。

平成24年1月

岡崎 甚幸、大谷 孝彦
鈴木 利友、天島 秀秋